

動きだした 仙台市政。

日本共産党のチカラ

市民の声、相次いで届く



2年前、市民の共同した力が郡市政を誕生させました。新市政のもと、35人以下学級、学校エアコン、国民健康保険料の軽減など市民の声がつつぎつつぎにいかされています。

それらは前市政時代、要望してもはね返されてきた市民の願いです。日本共産党と市民がいっしょになって、あきらめず訴え続けてきたことが郡市政で実現しています。



議会では妨害も…

郡市政が市民要求を実現していることに、自民党市議は『「あれも、これも」の放漫財政』（市政報告）、「35人以下学級の効果は皆無」（市議会だより）などと主張しています。自民、公明は、財政が大変だから市民は理解しろという条例まで作ろうとしています。

共産党議員を懲罰にかける

自民党は、「共産党は暴力革命」などと事実無根の質問を行い、それに対し議会のルールにのっとり発言の取り下げを求める動議を出した共産党の花木則彰議員に、懲罰を課すことまでしました（花木議員に議場で陳謝文の読みあげを強要）。



共産党市議団の存在感増す

いま、郡市政のもと、市民の運動を強めれば、市民要求がもっともっと実現する可能性が生まれています。共産党は、議会のなかで、要求を实らせていく道すじを示し、

積極的で現実的な提案を行っています。なにより、市民の声を市政につなぐパイプ役となっています。共産党の存在は、市民の声をいかす力です。



政策の実現に全力をあげる。

日本共産党の重点公約から

やめさせよう！消費税10%

消費税増税に賛成だという人も「10月実施は、ないでしょ」と言っています。「10月増税反対」の声を安倍政権につきつけましょう。

市の便乗値上げに、自民党など賛成

市は、10%増税を理由にバス、地下鉄、水道、ガスなどの料金をいっせいに値上げします。市民センターなど施設の使用料も便乗値上げです。これら値上げ案に共産党は、反対しましたが、自民党や公明党などが賛成しました。

増税に頼らなくても大丈夫！

共産党は、消費税増税に頼らなくても保育料や学費の負担軽減、時給1000円以上など実現する財源（7.5兆円）を示しています。

- 大企業に、中小企業なみの法人課税……4兆円
- 大株主優遇ただし、最高税率上げる…3.1兆円
- 米軍への「思いやり予算」など廃止…0.4兆円

若者を応援する

■給付型奨学金をつくる

政令市で独自の奨学金制度をつくっていないのは、仙台市と広島市だけ。返還不要の給付型奨学金を創設します。

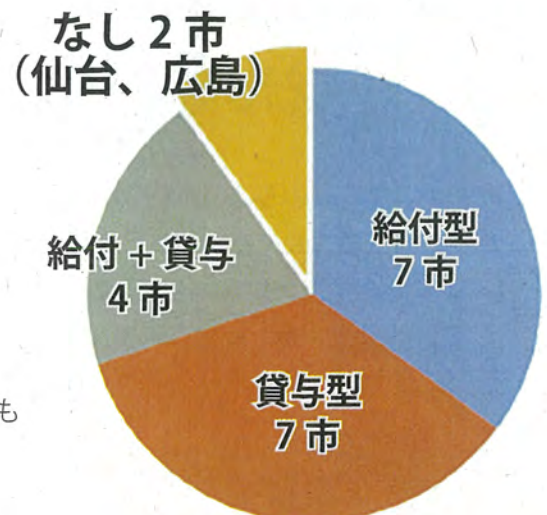
■家賃を補助する

若者や子育て世代を対象に家賃を援助します。

■学都フリーパスを全市に拡大

宮城交通などでも使えるようにし、家や学校がどこにあっても利用できるようにします。

政令市の奨学金制度実施状況



子育て支援・教育

■保育所の待機児童ゼロ

認可保育所は増えてはいるものの、入所希望に追いついていません（右欄）。公立保育所の廃止民営化は中止し、民間も公立も認可保育所を増やします。保育士の処遇改善を進め、保育士を確保します。

■18歳まで医療費ゼロ

県内では、医療費を18歳の年度末まで助成する自治体が多数です。所得制限、初診500円負担もなくします。

■35人以下学級を小学校でも

小学校で現在2年生までの35人以下学級を6年生まで広げます。

認可保育所数と定員数の4年間の推移

| 区 | 2019年4月1日 | | 2015年4月1日 | |
|------|-----------|-------|-----------|-------|
| | 私立数 | 私立定員数 | 私立数 | 私立定員数 |
| 青葉区 | 39 | 3523 | 23 | 2402 |
| | 9 | 864 | 10 | 934 |
| 宮城野区 | 31 | 2556 | 24 | 2162 |
| | 7 | 750 | 8 | 840 |
| 若林区 | 27 | 1956 | 15 | 1200 |
| | 5 | 515 | 6 | 605 |
| 太白区 | 35 | 2970 | 24 | 2220 |
| | 11 | 929 | 12 | 1019 |
| 泉区 | 25 | 1949 | 17 | 1529 |
| | 5 | 440 | 9 | 830 |
| 合計 | 194 | 16452 | 148 | 13741 |

保育施設に申し込んでも入れない児童数
(入所保留児童数、4月1日時点)



子ども医療費助成

2019年6月1日時点

| 自治体 | 中学卒業まで | 18歳まで | 所得制限 | 一部自己負担 |
|------|--------|-------|------|--------|
| 仙台市 | ○ | ● | ● | ● |
| 石巻市 | ○ | — | — | — |
| 塩釜市 | ○ | ○ | ● | — |
| 気仙沼市 | ○ | — | ● | — |
| 白石市 | ○ | — | — | — |
| 名取市 | ○ | — | ● | ● |
| 角田市 | — | ○ | ● | — |
| 多賀城市 | — | ○ | ● | — |
| 岩沼市 | ○ | — | ● | — |
| 登米市 | — | ○ | — | — |
| 栗原市 | — | ○ | — | — |
| 東松島市 | — | ○ | — | — |
| 大崎市 | ○ | — | ● | — |
| 富谷市 | — | ○ | ● | ● |
| 蔵王町 | — | ○ | — | — |
| 七ヶ宿町 | — | ○ | — | — |
| 大河原町 | — | ○ | — | — |
| 村田町 | — | ○ | — | — |
| 柴田町 | ○ | — | — | — |
| 川崎町 | — | ○ | — | — |
| 丸森町 | — | ○ | — | — |
| 亘理町 | — | ○ | ● | — |
| 山元町 | — | ○ | ● | — |
| 松島町 | — | ○ | — | — |
| 七ヶ浜町 | — | ○ | ● | — |
| 利府町 | — | ○ | — | ● |
| 大和町 | — | ○ | — | — |
| 大郷町 | — | ○ | — | — |
| 大衡村 | — | ○ | — | — |
| 色麻町 | — | ○ | — | — |
| 加美町 | — | ○ | — | — |
| 涌谷町 | — | ○ | — | — |
| 美里町 | ○ | — | — | — |
| 女川町 | — | ○ | — | — |
| 南三陸町 | — | ○ | — | — |

暮らしを支える

■正規雇用を増やす

中小企業が非正規労働者を正規にしたり、直接、正規雇用した場合、助成します。

■被災者支援

支援員を配置するなどコミュニティの活性化。復興住宅の収入超過者の家賃減免。

■国民健康保険料を引き下げる

家族の人数に応じてかかる均等割や平等割をなくすと…

36万6,000円 (年額)
→ 22万4,800円
(4人家族、年収400万円のケース)

※国が公費1兆円を全国的に投入した場合の試算。

公共交通を充実する

■敬老パスの利用上限を撤廃

年12万円の上限を撤廃します。利用できる事業者を増やします（愛子観光、タケヤ交通など）。

■地域にコミュニティバスなど

市は、地域公共交通の取り組みを支援しています。本格運行への補助制度をつくり、各地に拡大します。



公約を実行した 4年間。

日本共産党の実績

共産党は、4年前に掲げた公約をつぎつぎに実現しています。

| 4年前の公約 | 実現の内容 |
|-----------------|--|
| 中学校卒業まで医療費を助成 | 小学3年生までだった助成(通院)を中学卒業まで拡大。通院・入院とも中学生まで助成対象が広がった。 |
| 復興公営住宅の家賃減免 | 入居6年目から家賃が上がることになっていたのを、当面入居10年目まで、減免を継続させた。 |
| 35人以下学級を実施 | 中学校の全学年で35人以下学級が実現した。 |
| 学校の普通教室にエアコンを設置 | 今年度中に、市立小中高のすべての教室にエアコンが設置される。 |
| 地域公共交通への支援 | コミュニティバスなど地域公共交通の取り組みに、市が助成する制度がスタート。 |

| 4年前の公約 | 実現の内容 |
|--------------|---|
| 国保料を引き下げる | 18歳未満の子どもの均等割が3割減免。また、黒字分の一部を引き下げに活用する仕組みができた。 |
| 子どもの貧困を解決する | 子ども食堂の開設と運営に市が助成する制度がスタート。 |
| 保育所を増やす | 保育所を増やすのに欠かせない保育士確保策として、若手保育士に月5,000円を助成する制度ができた。 |
| 就学援助制度を充実させる | 新入学学用品費の支給時期を、それまでの入学後から入学前に改善させた。 |
| 給付型奨学金の創設 | 給付型奨学金は、まだ実現していないが、奨学金の返還に援助する制度が新たにできた。 |

政策実現の財源は十分あります。

【積立金の政令市比較】

2017年度末普通会計ベース



【市財政の黒字額の推移】

(実質収支)

